共栄児童館 事業評価表

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					R3年度	R4年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・すくすくクラブ	月2回程度	10	14	13	13	107	0	0	109	216	13	73	0	0	73	146	・年間を通し、内容が偏らないように様々な活動を行ったが、毎回必ずふれあい遊びを取り入れた。わらべ歌、スカーフ遊び、ベビーマッサージをアレンジしたものを取り入れながら、乳児の時期に与える影響、効果を話した。また毎回、絵本はみんなで見ても集中できるとよいと考え、大型絵本を図書館で借りて読んだ。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・にこにこクラブ	月2回程度	10			13	106	0	0	106	212	13	83	0	0	82	165	・制作をやりたいとの声があった為、身体を動かして遊ぶだけではなく制作も行った。また、五感を刺激する感触遊びでは、寒天と葛切りを使い行ったが、とても集中しており、長時間遊ぶことができ、母親からも好評だった。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・キンダークラブ ・ちびっこクラブ	月2回程度	10			26	186	2	0	155	343	26	211	0	0	165	376	・キンダークラブでは、運動遊びを中心に行った。エアートランポリンや秋遊びなど、普段家ではできない遊びは人気が高く、母親からも子どもからも好評の企画となった。 ・ちびっこクラブは、子ども達の感性を伸ばすきっかけとなることを願い、大きな紙に絵を描く、泥んこ遊び、水を使った遊び、落ち葉遊びなど多彩な体験してもらった。中には手を出すのに躊躇する子もいたが、優しく声掛けをし、時間をかけて誘った。親子で生き生きと遊ぶ姿は、手間をかけた甲斐があったと喜ばしく感じた。
	小 計			52	399	2	0	370	771	52	367	0	0	320	687				
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・英語であそぼう ・リトミック ・おさんぽクラブ ・タンタカたんじょうび会 ・こいのぼり会 ・七夕会 ・お月見会 ・ハロウィン ・クリスマス会 ・節分 ・ひなまつり会	随時		14	13	41	383	6	0	397	786	43	374	0	0	369	743	・人数制限はあったが、季節行事をすべて行うことができた。七夕、ハロウィン、ひなまつり会は定員を大きく上回ったので日にちを追加して行った。どの行事も母親から高評価をいただき、市内の様々な地域から参加があった。
	小 計				41	383	6	0	397	786	43	374	0	0	369	743			

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					R3年度	R4年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	① 小学生クラブ1 ・一輪車クラブ	月2回程度	6	14	14	13	0	168	0	1	169	19	0	298	0	3	301	披露の場が無くても演技をしたいという子ども達の希望で、曲・振り付けを決めて練習を行った。感染対策の為、手を繋ぎずに技をやる方法はないかなど職員も協力しながら高学年を中心に考え、工夫した。毎回の練習では一人一人が集中した姿がみられた。見事に演技を完成させ、児童館まつり・共栄文化祭で保護者や地域の方に参観して頂くことが出来た。
		② 小学生クラブ2 ・子どもスタッフクラブ	月2回程度	6			12	0	107	0	0	107	14	0	151	0	0	151	・新たに、『SDGs』に対して自分たちができる取り組みとして「ペットボトルキャップの回収」と「SDGsをわかりやすく発表する」という事を行った。主たる活動のヒントは職員から出たものであっても、子ども達はその提案を深く掘り下げ、丁寧に仕上げていく様子が伺えた。集めた9,245個のキャップは、10人のポリオワクチンとなり、共栄文化祭でのSDGsの発表は地域の方から大きな拍手を浴びた。
		③ 小学生クラブ3 ・チャレンジキッズ	月1回	6			8	3	100	2	9	114	10	0	90	0	0	90	・チャレンジキッズは、製作や簡単な実験などを行った。製作では、個オリジナルの作品が完成した。スライム作りでは、職員よりも高学年の子ども達の方が手慣れた様子で、低学年にも教え、とても頼りになると感じた。
		④ ボランティア活動 ・ありがとうデー ・地域の敬老の日の プレゼント作り	月1回程度	随時			11	0	22	0	0	22	11	0	26	1	0	27	・毎月行う「ありがとうデー」では、進んで片付けや清掃活動を行ってくれた。また、地域の方への敬老の日のプレゼント作りでは、ホッチキスの針を使ったキーホルダーと子ども達の心温める手書きメッセージを送った。地域の高齢者の方が散歩の途中に来館され、「杖につけてお守りにしているよ」と嬉しそうに話してくださり、つながりを感じた。
	小 計							44	3	397	2	10	412	54	0	565	1	3	569
児童を対象とした事業	2	③ 児童 自主事業 ・新一年生あつまれ！ ・体力チャレンジ番付 ・キュートなルーム ・かんたん工作 ・科学工作 ・作陶体験 ・クリスマス会 ・小学生ハロウィン ・節分鬼ごっこ ・共栄わっくわくNIGHT	随時		14	13	33	31	261	1	50	343	35	1	295	1	25	322	・今年度もコロナの影響でデイキャンプは実施困難と判断し、代わりに対策をしながら行えるものはないかと、置き型花火の鑑賞やスーパーボールすくいなど屋外で行う夏祭りをコンセプトにした「共栄わっくわくNIGHT」を計画した。他にも、人気の科学工作や作陶体験は複数回行い、沢山の子ども達が参加することが出来た。
		小 計					33	31	261	1	50	343	35	1	295	1	25	322	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					R3年度	R4年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり	10月22日	1			1	6	43	0	19	68	1	15	80	4	50	149	・児童館まつりは、人数制限を設けて行った。一輪車・ダブルダッチスクールの皆様の演技披露は沢山の方の観覧があり、大いに盛り上がった。その後のゲームブース、おかしのかみどりなど、子ども達の楽しそうな笑い声や歓声でとても賑やかなお祭りとなった。コロナ禍で避けていたことを少しずつ取り戻し、児童館まつりを開催することが出来た。
		② 移動児童館 ・共栄文化祭			13	14	0	0	0	0	0	0	1	4	44	7	3	58	・まちづくり市民会議主催の共栄文化祭を行うことが出来た。一輪車クラブの演技披露の他、子どもスタッフクラブのSDGsについての発表、児童館まつりで好評だったゲームを二種類用意した。また、展示ブースには事前に来館した子ども達に「こんな児童館がいい」というテーマで好きなように書いてもらった。「新しい遊具が欲しい」「友達と仲良く遊びたい」など子ども達の素直な意見を聞く事が出来た。中には絵を描く子もおり、児童館らしい素敵なブースとなった。発表や展示ブースを沢山の地域の方に見てもらえた為、児童館をPRすることが出来た。
	小 計						1	6	43	0	19	68	2	19	124	11	53	207	
	2	③ 自主事業 ・館庭菜園 ・母の日、父の日の プレゼント作り ・ガサガサ探検隊 ・敬老の日のプレゼント作り ・親子木工工作 ・バードウォッチング ・多世代卓球 ・宮太鼓CLUB	随時			14	14	34	46	87	0	124	257	50	72	95	1	218	386
小 計						34	46	87	0	124	257	50	72	95	1	218	386		

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R3	令和3年度の参加人数					実施回数 R4	令和4年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					R3年度	R4年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア	随時	3	13	13	8	0	0	18	0	18	9	0	0	22	0	22	・今年度も中学校に募集は行わず、おたよりに記載して募集を行った。小学生の頃に遊びに来てくれた子がボランティアに参加してくれることがほとんどだった。小学生には言葉を変えてわかりやすく説明する姿は、とても頼りになると感じた。
	小計						8	0	0	18	0	18	9	0	0	22	0	22	
	2	② 中高生自主事業 ・プレパパ、プレママ体験	随時		13	12	2	0	0	6	0	6	1	0	0	2	0	2	・プレパパ、プレママ体験は、乳幼児水遊びの期間に参加してもらい、母親に許可を頂き、消毒を行った上で着替え・水遊びの手伝いを体験させてもらった。母親や職員から話を聞き、子どもとかかわりを持つことで、子育ての大変さや楽しさ、命の大切さなど、感じ取っている様子だった。
	小計						2	0	0	6	0	6	1	0	0	2	0	2	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日	月1回	12	13	14	9	2	0	0	1	3	12	2	0	0	2	4	・相談日に相談は少なかった。 ・随時の相談では、子どもの発達の相談や、母親自身についての相談など様々だった。相談に来た母親には親身に寄り添い、来館された際には積極的に声をかけるよう心掛け、対応した。
		② 講習・演習・他連携 ・バランスボールで産後ケア ・子どもスタッフ交流会		2			1	8	0	0	11	19	7	28	11	0	28	67	・バランスボールで産後ケアは、子育ての手助けをしたいという母親が作った団体の方に講師に来ていただき、ストレッチや運動を行った。参加人数は少ないが、参加した母親からは「無理のない運動でリフレッシュできた」と大変好評だった。今後も母親たちに寄り添い、行っていきたい。
		③ 母親クラブ ・共栄倶楽部	月1回程度	随時			6	8	0	0	8	16	8	10	0	0	14	24	・今年度も母親クラブの立ち上げには至らなかったが、「共栄倶楽部」として活動をしている中で、母親クラブを立ち上げたいという母親もいた。製作をしながらクラブの意義や活動内容などを話した。
	小計						16	18	0	0	20	38	27	40	11	0	44	95	
	2	④ 子育て自主事業 ・新米ママたいむ ・おばあちゃんと一緒に ・支援児遊びの広場			13	12	12	18	6	7	35	66	7	17	0	0	18	35	・新米ママたいむは、少子化が進む中、参加者が集まらず中止になることもあったが、子育てに不安を抱える母親のバックアップが出来た。 ・おばあちゃんといっしょは、もっと需要があっても良い企画だと感じたが、思うように集まらなかった。しかしながら、参加者から感じたのは、娘(嫁)に気を遣い、恐る恐る孫育てをしている方が多いという事だ。そこから生まれるストレスを緩和できる時間として活用できると良いと感じた。 ・支援児遊びの広場は、参加者がコロナ感染し中止となったが、その後のかんたん工作で小人数ではあったが交流できた。
小計						12	18	6	7	35	66	7	17	0	0	18	35		

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内

「年度評価欄」は、次の内容で記入。 1: 取消等を検討、2: 不備が目立つ、3: 若干不備あり、4: 良好、5: 期待以上